



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社リログループ 上場取引所 東  
 コード番号 8876 URL <https://www.relo.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役CEO（氏名） 中村 謙一  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 門田 康（TEL）03-5312-8704  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	30,675	8.2	5,740	△2.6	5,990	△0.7	3,997	16.4
2023年3月期第1四半期	28,352	5.9	5,893	34.4	6,032	31.2	3,433	22.6

  

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	26.15	25.08
2023年3月期第1四半期	22.45	21.54

## （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	321,058	68,826	67,614	21.1
2023年3月期	322,691	69,819	68,615	21.3

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	37.00	37.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,000	9.1	27,700	21.8	29,000	12.1	19,000	△9.0	124.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	153,016,200株	2023年3月期	153,016,200株
2024年3月期1Q	162,332株	2023年3月期	161,732株
2024年3月期1Q	152,853,463株	2023年3月期1Q	152,948,650株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(非継続事業)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、日本企業の海外進出が活発化し、企業のグローバルな競争が激化する環境下において、「日本企業が世界で戦うために本業に集中できるよう、本業以外の業務をサポートすること」、「真のサムライパワーを発揮できるよう、日本企業の世界展開を支援すること」、また、これらの活動を通じ、「これから始まる日本の大転換をサポートすること」という使命のもと、「世界規模で展開する『生活総合支援サービス産業』の創出」、「グローバル・リロケーションカンパニーNo. 1」というビジョンを掲げております。このビジョンの実現に向けて、2025年3月期を最終年度とする中期経営計画「新第三次オリンピック作戦」においては、国内市場シェアダントツNo. 1に向けた国内事業のさらなる強化に取り組むと同時に、世界の市場にリーチする土台作りにも取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間は、借上社宅管理事業における管理戸数や福利厚生事業における会員数などのストック基盤が堅調に積み上がり増収となりました。一方で、前年同期は観光事業において大型物件の売却があったことなどから、営業利益および税引前四半期利益は前年同期を下回りました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、以下のとおりです。

売上収益	306億75百万円	(前年同期比	8.2%増)
営業利益	57億40百万円	(前年同期比	2.6%減)
税引前四半期利益	59億90百万円	(前年同期比	0.7%減)
親会社の所有者に帰属する四半期利益	39億97百万円	(前年同期比	16.4%増)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

## ① リロケーション事業

当事業は、借上社宅管理事業、賃貸管理事業、海外赴任支援事業で構成され、国内外で日本企業の人の移動を総合的にサポートしております。借上社宅管理事業においては、借上社宅管理を中心に物件検索等による転居支援、留守宅管理等を手掛け、賃貸管理事業においては、賃貸不動産の管理や仲介をはじめとしたサービスを展開しております。また、海外赴任支援事業においては日本企業を支援すべく、北米をはじめとした現地において、赴任前から帰任に至るまで、海外赴任サポート等のサービスを総合的に展開しております。

当第1四半期連結累計期間は、借上社宅管理事業では新規契約の獲得により管理戸数が増加したことに加え、賃貸管理事業では前第3四半期連結会計期間において新たな賃貸管理事業会社がグループ入りしたことなどにより増収となりました。一方で、海外赴任支援事業ではインバウンド支援世帯数が減少したことに加え、前年同期は借上社宅管理事業における一過性の利益の計上があったことなどから、僅かに減益となりました。

これらの結果、売上収益213億34百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益35億98百万円（同0.4%減）となりました。

## ② 福利厚生事業

当事業は、企業の業務負担とコストを軽減し様々なコンテンツを従業員へ提供する福利厚生代行サービスや、提携企業向けに顧客特典代行サービス等を提供しております。また、住まいの駆け付けサービスを手掛け、顧客会員の生活を総合的にサポートしております。

当第1四半期連結累計期間は、福利厚生代行サービスにおける会員の新規獲得が進み会費収入が増加したことに加え、住まいの駆け付けサービスが好調に推移したことから、増収増益となりました。

これらの結果、売上収益60億72百万円（前年同期比14.2%増）、営業利益27億20百万円（同20.8%増）となりました。

③ 観光事業

当事業は、福利厚生事業の会員基盤や企業の保養所をはじめとした地方の中小型のホテル、旅館の運営ノウハウを活用し、ホテル運営事業と別荘のタイムシェア事業を展開するほか、後継者問題を抱えるホテル、旅館の再生にも取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間は、人の移動の回復によりホテルの稼働率が回復したほか、複数の新規施設がオープンしたことなどから増収となりました。一方で、前年同期は大型物件の売却があったことから減益となりました。

これらの結果、売上収益30億8百万円（前年同期比13.4%増）、営業利益4億5百万円（同54.7%減）となりました。

④ その他

当事業は、主力事業の基盤を活かし金融関連事業等を展開しており、売上収益2億60百万円（前年同期比2.6%増）、営業損失75百万円（前年同期は20百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比して16億32百万円減少し、3,210億58百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比して6億40百万円減少し、2,522億31百万円となりました。

資本合計は、前連結会計年度末に比して9億92百万円減少し、688億26百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は、想定通りに推移しており、2023年5月11日に発表した「2023年3月期決算短信」に記載の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	43,695	37,439
営業債権及びその他の債権	85,197	83,612
棚卸資産	6,410	7,312
その他の金融資産	7,991	8,394
その他の流動資産	4,004	4,045
流動資産合計	147,298	140,805
非流動資産		
有形固定資産	14,240	14,459
使用権資産	29,632	29,949
のれん	15,795	16,100
無形資産	8,429	8,418
投資不動産	21,529	23,640
持分法で会計処理されている投資	39,889	39,896
その他の金融資産	33,244	35,107
繰延税金資産	11,707	11,623
その他の非流動資産	922	1,057
非流動資産合計	175,392	180,253
資産合計	322,691	321,058

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	20,765	20,065
社債及び借入金	29,808	32,416
リース負債	52,520	56,927
未払法人所得税	6,265	1,824
契約負債	8,785	8,004
その他の金融負債	17,261	18,448
引当金	334	—
その他の流動負債	4,956	3,909
流動負債合計	140,696	141,596
非流動負債		
社債及び借入金	51,963	50,087
リース負債	22,087	22,376
契約負債	18,979	19,216
その他の金融負債	8,779	8,840
引当金	7,843	7,993
繰延税金負債	1,827	1,392
その他の非流動負債	694	728
非流動負債合計	112,175	110,634
負債合計	252,871	252,231
資本		
資本金	2,667	2,667
資本剰余金	271	344
利益剰余金	58,141	57,088
自己株式	△56	△55
その他の資本の構成要素	7,592	7,570
親会社の所有者に帰属する持分合計	68,615	67,614
非支配持分	1,203	1,212
資本合計	69,819	68,826
負債及び資本合計	322,691	321,058

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
継続事業		
売上収益	28,352	30,675
売上原価	15,856	16,605
売上総利益	12,495	14,070
販売費及び一般管理費	7,727	8,459
その他の収益	1,211	333
その他の費用	86	202
営業利益	5,893	5,740
金融収益	38	233
金融費用	180	297
持分法による投資損益	281	314
税引前四半期利益	6,032	5,990
法人所得税費用	1,918	1,934
継続事業からの四半期利益	4,114	4,056
非継続事業		
非継続事業からの四半期損失(△)	△569	—
四半期利益	3,544	4,056
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,433	3,997
非支配持分	111	58
四半期利益	3,544	4,056
親会社の所有者に帰属する 継続事業から生じた四半期利益	4,003	3,997
親会社の所有者に帰属する 非継続事業から生じた四半期損失(△)	△569	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益	3,433	3,997
1株当たり四半期利益又は損失(△)		
基本的1株当たり四半期利益 又は損失(△)(円)		
継続事業	26.18	26.15
非継続事業	△3.72	—
合計	22.45	26.15
希薄化後1株当たり四半期利益 又は損失(△)(円)		
継続事業	25.11	25.08
非継続事業	△3.57	—
合計	21.54	25.08

## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
四半期利益	3,544	4,056
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	38	△1,181
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	0	7
項目合計	38	△1,173
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	5,867	1,063
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	72	22
項目合計	5,940	1,086
その他の包括利益合計	5,979	△87
四半期包括利益	9,524	3,968
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	9,417	3,896
非支配持分	106	72
四半期包括利益	9,524	3,968

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 資本の 構成要素			
2022年4月1日 残高	2,667	—	41,570	△57	10,304	54,485	657	55,142
四半期利益	—	—	3,433	—	—	3,433	111	3,544
その他の 包括利益	—	—	—	—	5,984	5,984	△4	5,979
四半期包括利益	—	—	3,433	—	5,984	9,417	106	9,524
自己株式の処分	—	—	—	0	—	0	—	0
配当金	—	—	△4,436	—	—	△4,436	△49	△4,485
株式に基づく報酬取引	—	63	—	—	17	81	—	81
その他	—	—	△2	—	5	2	△1	1
所有者との 取引額等合計	—	63	△4,438	0	23	△4,351	△50	△4,402
2022年6月30日 残高	2,667	63	40,565	△56	16,311	59,551	713	60,264

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 資本の 構成要素			
2023年4月1日 残高	2,667	271	58,141	△56	7,592	68,615	1,203	69,819
四半期利益	—	—	3,997	—	—	3,997	58	4,056
その他の 包括利益	—	—	—	—	△100	△100	13	△87
四半期包括利益	—	—	3,997	—	△100	3,896	72	3,968
自己株式の処分	—	4	—	0	—	5	—	5
配当金	—	—	△5,044	—	—	△5,044	△60	△5,105
株式に基づく報酬取引	—	68	—	—	68	137	—	137
その他	—	—	△4	—	9	4	△2	1
所有者との 取引額等合計	—	72	△5,049	0	77	△4,897	△63	△4,961
2023年6月30日 残高	2,667	344	57,088	△55	7,570	67,614	1,212	68,826

## (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## (1) 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、住宅分野とレジャー・ライフサポート分野の双方にまたがる企業福利厚生のアウトソーシングサービスを主力事業とし、その事業基盤を活かして賃貸管理事業やホテル運営事業なども展開しております。

各事業の概要は下記のとおりです。

リロケーション事業：借上社宅管理業務アウトソーシングサービス、賃貸不動産管理・仲介事業、海外赴任サポート、インバウンドサポート、駐在員規定・処遇コンサルティング等

福利厚生事業：福利厚生代行サービス、顧客特典代行サービス、住まいの駆け付けサービス等

観光事業：別荘のタイムシェア事業、ホテル運営事業等

## (2) 報告セグメントの情報

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の内部売上高および振替高は市場実勢価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	リロケーション事業	福利厚生事業	観光事業	計
売上収益				
外部顧客への売上収益	20,127	5,318	2,652	28,098
セグメント間の売上収益	51	59	14	126
計	20,178	5,378	2,666	28,224
セグメント利益又は損失(△)	3,611	2,252	894	6,759

	その他(注1)	合計	調整額(注2)	要約四半期連結損益計算書計上額
売上収益				
外部顧客への売上収益	253	28,352	—	28,352
セグメント間の売上収益	41	167	△167	—
計	294	28,519	△167	28,352
セグメント利益又は損失(△)	△20	6,738	△845	5,893

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり金融関連事業等です。

2. セグメント間の売上収益およびセグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去および全社費用によるものです。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	リロケーション 事業	福利厚生事業	観光事業	計
売上収益				
外部顧客への売上収益	21,334	6,072	3,008	30,415
セグメント間の売上収益	48	76	16	141
計	21,382	6,149	3,024	30,556
セグメント利益又は 損失(△)	3,598	2,720	405	6,725

	その他(注1)	合計	調整額(注2)	要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益				
外部顧客への売上収益	260	30,675	—	30,675
セグメント間の売上収益	44	185	△185	—
計	305	30,861	△185	30,675
セグメント利益又は 損失(△)	△75	6,649	△908	5,740

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり金融関連事業等です。

2. セグメント間の売上収益およびセグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去および全社費用によるものです。

## (非継続事業)

当社は、2022年5月6日開催の取締役会において、SIRVAグループ(SIRVA Holdings, Inc. とそのグループ会社の総称)を所有するGlobal Relocation and Moving Services, LP(以下、「GRMS」という。)と連結子会社の異動(株式譲渡)およびグローバル・リロケーション事業の共同経営開始について合意をすることを決議し、同年7月29日に取引が完了いたしました。そのため、前連結会計年度においてBGRS Limitedおよびグループ会社22社を非継続事業に分類しております。

損益は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
収益	13,595	—
費用	14,242	—
非継続事業からの税引前四半期損失(△)	△647	—
法人所得税	△77	—
非継続事業からの四半期損失(△)	△569	—

キャッシュ・フローは以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,913	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△543	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,283	—
合計	△5,173	—